

令和7年度 校内研修

1. 「自律した学習者を育む学び」に向けた学習者主体の授業づくり —問いをもたせる工夫に視点をあてて—

2. 主題設定の理由

変化の激しい社会を自分の力で歩いていける人を目指して、群馬県では「自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す！」という自分事化を共通認識として掲げている。

本校では、GIGA スクール構想が始まってからの4年間は、「教職員の、児童の、情報活用能力の育成」というテーマで校内研修に取り組んできた。ロイロノートの他、複数のアプリケーションの活用方法を探り、児童の実態に合わせて、児童が主体的に表現できるツールの自己選択ができるようになってきた。しかし、学習を自分事として捉え、主体的に学びに向かうという点では課題がある。

そこで、今年度の校内研修では、「学習者主体の授業づくり」というテーマで学習を見直し、特に「問いを持たせる工夫に焦点をあてて」取り組んでいくことにした。

授業デザインを考える際は、どのような導入を設定したら、児童に問いが生まれてくるのか、また、どのような問いが思考力を働かせることができるのかという視点から授業づくりを考えていきたい。取り入れたい場面としては、県が提示している「自己決定」「対話・交流」「試行錯誤」の「自己決定」と「試行錯誤」の場面に本年度は重点を置き、班員でアイデアを出し合い、学び合いながら研修を進めていきたい。

また、最初の共通理解として各教科の見方・考え方を確認し、年度当初に各学年の学習内容を俯瞰してカリキュラムマネジメントを行い、教職員が見通しを持ちながら、有限な時間をより効果的に使って、児童の深い学びの実現を目指したい。

また、様々な情報メディアを目的に応じて効果的に教職員が使えるように、また、児童が選択して使えるようにしていきたい。そのために、教職員向けに、ミニ研修を行い、教職員の情報活用能力をさらに高める必要がある。

以上の研修と実践を行うことにより、自律した学習者の育成の第一歩になると考え、本主題と副主題を設定した。

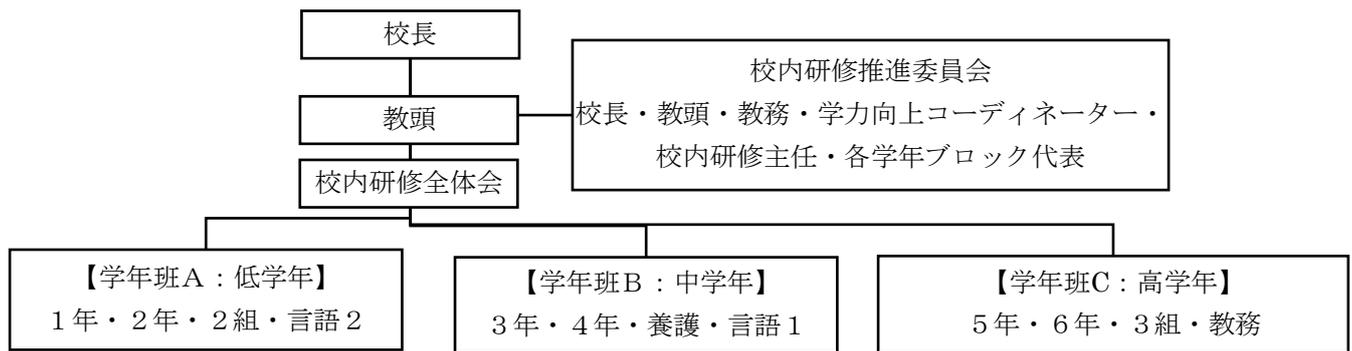
3. 研修のねらい

問いをもたせる工夫に視点をあてた授業デザインを考えることで、学習者が主体となる学びを目指す。

4. 研修の内容

- ・問いをもたせる工夫に視点をあてた授業実践を行う。
- ・先行事例をもとに教職員向け研修を行い、共通認識をはかる。
- ・各教科の「見方・考え方」の確認と各学年のカリキュラムマネジメントを行う。
- ・デジタル資料を共有し、効果的に活用できるようにする。

5. 研修の組織



デジタル資料館：研修主任・副主任・情報主任・図書館教育主任・(情報教育支援員・学校司書等)

*授業は全員行い、各班員と管理職は必ず参観し短時間で振り返りを Padlet で行う。なお、各班の代表授業者の授業は、全員が参観して行う。

*各授業については、各班で話し合いアイデアを出し、自分事として取り組む。

6. 研修計画

日時	推・全	内 容	
4/8	火	推進①	今年度の校内研修の内容及び組織検討
4/18	金	全体①	今年度の校内研修の内容及び組織・日程の検討
5/19	月	全体②	「各教科における授業の導入の工夫について」青木先生を講師にお招きする予定 各部会の計画立案
6/9か16	月	全体③	指導主事による講義※
7/18	金	全体④	班別研修 1
9/8	月	全体⑤	班別研修 2
10/20	月	全体⑥	班別研修 3
11/17	月	全体⑦	班別研修 4
12/8	月	全体⑧	班別研修 5
1/8	木	全体⑨	班別研修 6
3/9	月	全体⑩	研修のまとめと次年度の方向性について

○推進委員会については必要に応じて招集して行う。

○グループごとの代表授業については、計画的に実施し、2学期中に完了を目指す。

○代表授業に関連した授業をグループごとに計画し、一人一回実施する。

○10月11月に授業が立て込まないように各班で計画的に行う。

○自由参加でミニ研修を行う。

※様々な教科、領域の授業における問いをもたせるための実践事例を含め、そもそも問いとは何か、問いをもたせるために留意すべき点は何か等々について講義をしていただく予定です。